

24時間365日 急患対応

We handle emergencies
24/7, year-round.



EMS GROUP PR MAGAZINE

Vol.4

2024 - 2025

2025

Vol.4

EMS GROUP PR MAGAZINE

ベトナム台風被災甚大

鹿児島県・ベトナム政府公認チャリティ活動

“五感”で文化を学べるボランティアイベント開催

Emergency Medical Service

ラジオ波治療が全クリニックで
患者対応可能に

『救急を救う男2』出版

Myrehab
Matsuoka
ベトナムTOP20
ブランド受賞

2025年2月

Grand Opening of Saikai Emergency Clinic

西海救急クリニック 開院

- ✓ 開院までの軌跡
- ✓ 西海救急クリニック院内・設備紹介
- ✓ 開院、そして今の西海救急



松岡救急クリニック 本院

鹿児島県南九州市川辺町
永田4164-8
☎ 0993-78-3789
🌐 <https://matsuoka-ems.net/>

T-松岡救急 クリニック神田

東京都千代田区神田錦治町
3-4 oak神田錦治町ビル1階
☎ 03-3518-5188
🌐 <https://tmckanda-ems.com/>

西海救急クリニック

長崎県西海市西海町
木場郷455-7
☎ 0959-23-0301
🌐 <https://saikai-ems.com/>

植田救急クリニック

山口県美祢市大嶺町
東分字沖田1210-1
☎ 0837-52-9237
🌐 <https://ueda-ems.net/>

松岡救急クリニック分院

鹿児島県曾於市末吉町二之方6013
☎ 0986-36-5505
🌐 <https://matsuoka-bunin-ems.net/>

西山救急クリニック

埼玉県加須市北小浜408
☎ 0480-63-3111
🌐 <https://nishiyama-ems.net/>

酒井救急クリニック

埼玉県越谷市大竹561-8
☎ 048-967-5339
🌐 <https://sakai-ems.net/>

医療法人EMS事務局

〒814-0153 福岡県福岡市城南区樋井川6-36-13
☎ 092-707-6060
🌐 <https://matsuoka-ems.net>



公式HP



公式Instagram

- EMERGENCY MEDICAL SERVICE -



P.1~2

目次・1年の流れ

P.3~4 2025年2月、ついに開院！

西海救急クリニック 開院

P.5~6

ベトナム台風被災甚大

鹿児島県・ベトナム政府公認チャリティ活動

広域医療法人EMS

2024 - 2025 活動報告

Emergency Medical Service

P.9 事務局リニューアル

全クリニックでラジオ波治療対応に
鯉節販売情報

P.10 理事長挨拶

／CHECK!!／



開院までの軌跡を描いた
西海救急クリニックの
紹介動画をご覧ください。



西海救急クリニック

開院までの軌跡

西海市役所 担当者様 西海救急クリニック開院に向けて本院視察



2023.11

地鎮祭

2024.3



2024年3月に地鎮祭を執り行いました。
西海市市長 杉澤泰彦様にもご列席とご挨拶をいただきました。
工事の安全を祈り、西海市の皆様にも一刻も早く健康と安心をお届けできるよう取り組んで参ることを改めて誓いました。

上棟式

2024.8



400人以上の地域の皆様にお越しいただき
無料緑日なども開催して大変好評でした。
救急クリニック開院に多くの期待の声をいただきました。



2025年2月1日・2日、開院式典と内覧会を開催しました。
開院式典には西海市市長 杉澤泰彦様をはじめ長崎県県議や
西海市議、消防署の方や一般の方など多くの方に参加
いただきました。式典後の内覧会には500人近くの方が
ご来場され、院内の設備を自由に内覧いただきました。

開院式・完成内覧会

2025.2

開 院

開院～2025年6月現在

☑ 救急車受入れ	249台
☑ 平日夜間	800人
☑ 休日昼	785人
☑ 休日夜間	191人

西海救急クリニックはEMSグループの『24時間365日、絶対に患者を断らない』という方針のもと、地域医療の充実に努めてまいりました。その結果、かつては救急患者の約9割が市外へ搬送されていた状況が大きく改善し、地域医療に新たな変化をもたらしています。開院から5か月間で救急搬送249件を受け入れ、搬送時間の大幅な短縮を実現しました。これにより、市民の皆様が医療機関を探し回る必要がなくなり重症化のリスクを回避することが可能となりました。今後も市民の皆様への声に耳を傾けながら、必要な医療を柔軟に、そして確実に提供してまいります。

AI搭載の最先端CT/MRIと全国展開のノウハウを結集！

院内・設備紹介

『西海の海からインスピレーションを受けてデザインされた待合室』・『AI搭載最新型のCT/MRI』
『外来から救急対応まで迅速な処置を行うために考え抜かれた動線』・『高い天井と大きな窓で開放的なリハビリ室』
救急クリニックを全国に展開してきたEMSのノウハウを集約したクリニックが西海市に完成いたしました。

受付
Receptionレントゲン/CT室
Xray/CT Scan RoomMRI室
MRI Roomエコー検査室
Echo Room救急処置室
Emergency Room診察室
Examination Roomリハビリ室
Rehabilitation Room

ごあいさつ Director's Welcome

患者とご家族には安心を。
地域には信頼を。
職員にはやりがいと楽しさを。
西海救急クリニックの院長に就任いたしました南里大樹です。
当院は、医療過疎地域である長崎県西海市からEMSに要請があり設立されたクリニックです。西海市には救急搬送の受け入れ先がなく、佐世保市や長崎市まで1時間かけて搬送を行っており、その数は年間1000件以上にのぼります。私は、西海市の人口規模を考慮すると1000件の救急車出動は多いと考えています。医療過疎地域においては、体調の変化が大きな不安を招きます。「どの病院で診てもらえるだろうか。」「病院に辿り着くまでにどれだけ時間がかかるのだろうか。」このような不安が増大し、救急車を呼ばざるを得ない状況が多かったのではないのでしょうか。しかし、安心して下さい。私たちは24時間365日、地域の皆様の不安に真摯に向き合います。世間では「適正受診にご協力ください。」という声が高まっていますが、受診のタイミングが適正かどうかを患者に委ねるのは、少し酷ではないのでしょうか。私は「不安になった時が適正受診のタイミング。」と考えています。不安を感じた時、少しでも心配なことがあれば、遠慮せずにご相談いただける、そんな場所でありつづけます。『24時間365日、全ての患者を断らずに全力を尽くして対応する』という法人の理念が私は大好きです。

院長
西海救急クリニック

南里大樹



広域医療法人EMS 海外事業報告

1

ベトナム台風被害支援チャリティ活動

2

Myrehab Matsuoka

TOP20ブランド受賞&新店舗OPEN

3

救急を救う男2 ベトナム進出編

1

ベトナムに寄り添い、再び。

ベトナム政府・鹿児島県公認
2024年ベトナム台風11号『YAGI』被害支援チャリティ活動



2023年、私たち医療法人EMSはベトナム・ハイズオン省にて医療チャリティを実施しました。

現地の医療機関や行政と連携して医療を必要としている方々へ無料の診察・手術・エコーなどを提供。

病院を受診する機会すら少ない地域とそこに住まう人々に寄り添い、私たちにできる精一杯の医療支援を行いました。

慣れない環境で医療支援を行う中、笑顔で手を振ってくれる子どもたち。感謝の言葉を繰り返す高齢の方々。そして医療を通じて深まった信頼と医療に携わる者同志のつながり。

この活動は私たちEMSスタッフ一人一人にとって忘れがたい貴重な経験となり「また来てね」という現地の人々の言葉は、胸に刻まれ続けていました。

そして2024年9月、大型の台風11号『YAGI』がベトナム北部を直撃し甚大な被害をもたらしました。報道で現地の被害状況を目にしたEMSのスタッフから自然と声が上がりました。

「私たちが昨年支援したあの地域は大丈夫だろうか。」

「今こそあの地に恩返しをしたい。」

TMCハノイや2023年のチャリティ活動で築いた現地の医療ネットワークを活かし、すぐにトゥエンクアン省やハイフォン省の被害状況やニーズを把握。その上で、医師・看護師・技師・通訳等による医療支援チームを立ち上げることを決定しました。

今回は鹿児島県の若手救急ドクターを中心に様々な活動をされている救急医療コミュニティ『救急郷中会』の皆さんとも連携を行い、共にチャリティ活動を行うことになりました。



準備を進めていくと、特に山岳地域のトゥエンクアン省は支援が届きにくく医療物資や治療が大きく不足していることが判明。

また、ハイフォン省では浸水や停電の影響により、持病のある方や高齢者が十分なケアを受けられない状況が続いていました。

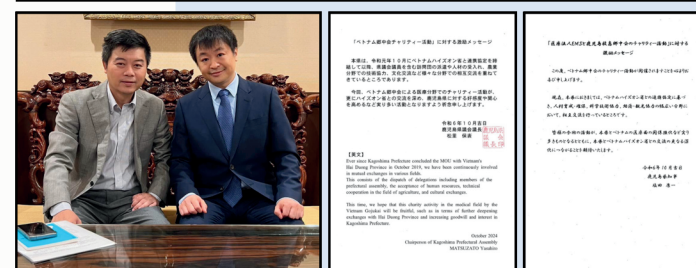
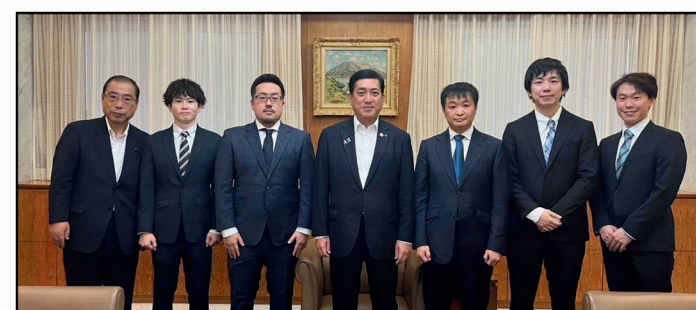
私たちは、「一刻も早く、必要な医療を必要な人へ届けたい」という一心で準備を進めました。

医療機器や医薬品をはじめとする支援物資の調達、現地との連携、通訳体制の整備など、さまざまな壁を乗り越えながら、出発に向けて着実に準備を進めました。



活動内容

- | DAY | 10/25 (金) | 10/26 (土) | 10/27 (日) |
|-----|--|--|---|
| 午前 | 移動 福岡空港からハノイ空港へ | TMCにおける市民講座
NURA 健診センターにおける市民講座
講座内容「脳卒中の予防について」 | ハイフォン省ビンバオ地区
医療センターにおけるチャリティー活動
物資支援、無料診察 |
| 午後 | 台風11号被災地・トゥエンクアン省
キエンタイ小中学校における
チャリティー活動 物資支援
市民講座「感染症予防のための衛生管理」 | Myrehab Matsuoka
(リハビリセンター) 訪問 | ビンバオ地区医療関係者と交流会 |
| 午後 | 在ベトナム日本大使館伊藤大使訪問
ハノイ115 救急センター訪問
TMCにおける一次救命処置講習 | ハノイ医科大学訪問
Myrehab Matsuoka
における一次救命処置講習 | |



この活動は、塩田康一 鹿児島県知事およびグエン・ドゥック・ミン 駐日ベトナム大使館臨時代理大使の公認のもと正式な支援活動として実施されました。チャリティ活動の最終日には駐ベトナム日本国特命全権大使 伊藤直樹様、に今回の医療チャリティの結果と現状を報告させていただきました。

『日本とベトナム』『医療と人道』そして『心と心』をつなぐチャリティ活動として多くの協力者とともに新たに大きな一歩を踏み出しました。

国が違っても、言葉が違っても、困っている誰かのためにできることはきっとある。

医療法人EMSは日本国内で培った高水準な医療を国境を越えて届けていきます。

海外事業報告

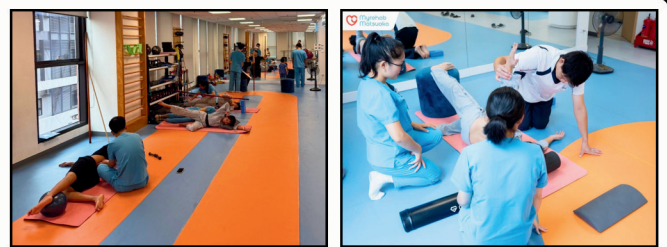
2 マイリハ マツオカ Myrehab Matsuoka ベトナムで快挙！ ～優良ブランド TOP20 受賞 & 2号店オープン～



2024年12月Myrehab Matsuokaはベトナム国内の著名なアワードである『2024年ベトナム国内優良ブランド TOP20』に選出されました。本アワードは品質・信頼性・社会貢献度など、さまざまな観点から総合的に評価されたブランドに贈られるもので、ベトナム国内外から高い注目を集めています。Myrehab Matsuokaは日本水準のリハビリ技術によってきめ細やかなケアを提供し、未だリハビリテーションの習慣が浸透していないベトナム国内においてその発展と地域医療の質の向上に大きく寄与してきたことが高く評価されました。今回の受賞は、スタッフ一人ひとりの日々の努力と、現地の皆様からの温かい信頼の賜物です。

Myrehab Matsuokaとは？

Myrehab Matsuokaは、ベトナム・ハノイに位置する日越連携型のリハビリ専門施設です。医療法人EMSが日本国内で長年培ってきたリハビリテーション技術と現地クリニックであるTMCハノイとの強力な連携によりベトナム国内で質の高いリハビリテーションサービスを提供しています。



現地ニーズに応え
さらに拡大へ！！



さらに2025年7月ベトナム・ハノイ市内にMyrehab Matsuokaの2号店がオープンしました。Myrehab Matsuokaはオープン以来、ベトナムに日本水準のリハビリテーションサービスを提供し続けてきましたが、日を追うごとに患者様からのニーズの高まりを強く感じてました。より多くの方に質の高いリハビリテーションサービスをお届けべく開設された2号店では、1号店同様にEMSグループの理念を継承した安心・信頼のケアを提供しています。今後は3号店やホーチミン店のオープンも計画しています。

3 EMS海外展開の軌跡を描いた話題作、ついに刊行！ 『救急を救う男2 ベトナム進出編』出版

医療法人EMS 理事長 松岡良典による実録書籍『救急を救う男2 ベトナム進出編』がこのたび出版されました。日本で救急医療の空白地帯に挑んできた当法人の歩みに続き、ベトナム・ハノイでの新たな挑戦が描かれています。

——グローバル医療モデルの可能性を探る一冊

「24時間365日 断らない医療」を掲げて活動してきたEMSグループ。その志は国境を越えて現在ではベトナム・ハノイにて『T-Matsuoka Medical Center (TMC)』を開院し、現地の方々に日本水準の医療を提供しています。また、リハビリ施設『Myrehab』と提携することで施設名を『Myrehab Matsuoka』とし、日本人スタッフを派遣して指導を行うことでベトナムにおけるリハビリテーションの発展にも貢献してきました。本書では、現地での医療体制との連携や、文化・言語の壁を越えた医療支援の実際、そして開業に至るまでの苦労と工夫が生々しく綴られています。国内での救急医療モデルを基盤に、いかにして海外展開を実現したのか。未来の医療にヒントを与える内容が詰まった一冊です。



▲ どちらもAmazonでご購入いただけます

音楽を楽しみながら食文化を学べる
ボランティアイベント

開催

広域医療法人EMS 鹿児島児童文化会

～ 食と音楽を通して皆で楽しい時間を過ごしましょう ～

『鹿児島児童文化会』は子どもたちに音楽や食、その他様々な文化に触れる楽しさを知ってもらい、健全な成長を応援すると共に様々な文化を絶やさず継承していくことを目的として当法人が立ち上げました。『音楽文化』ではエレクトーン奏者による生演奏と、子どもたち参加型の和太鼓の演目を披露していただきました。また、『食文化』として様々な地元企業様にご協賛をいただき、地元の食材をふんだんに使った美味しいお料理やお菓子を味わっていただきました。

2024年12月1日枕崎お魚センターにて児童養護施設に暮らす子どもたちをお招きして『鹿児島児童文化会』食と音楽を通して皆で楽しい時間を過ごしましょう』が開催されました。



イベント当日は職員・演奏者・ボランティアスタッフが一丸となつて子どもたちを迎え終始なごやかな雰囲気になりました。演奏の合間には音楽に合わせたリズム遊びやダンスも行われて、普段なかなか味わえない『文化の時間』に、子どもたちの顔にも笑顔が広がりました。



ご協賛者様

- 博多食文化の会
- 有限会社花月堂寿永
- 株式会社西村浅盛商店
- 株式会社明治屋
- パンとヨガの店 Emahima
- 菓子工房いづみや
- 株式会社ハちゃん堂
- セイカ食品株式会社
- 有限会社薩摩蒸気屋
- 枕崎お魚センター
- 新屋米穀店
- さつま揚げ松野下浦鈴長吉屋
- 有限会社かつまる造花店
- 株式会社フィデスワン
- 有限会社ヤナギムラ
- 日本生命保険相互会社
- 鹿児島銀行
- 大衆酒場チキンマン
- 池脇晋輔様
- 茶屋桃子様
- 幸丸食品
- 西原商会
- 丸国鯉節店
- 株式会社山崎鯉節店
- 株式会社九十九
- その他多数



医療法人EMSの拠点、福岡事務局がリニューアル

／ 和と伝統工芸を組み合わせた働きやすい空間に ／

広域医療法人EMS事務局がリニューアルしました。
来客者をおもてなしできるよう、落ち着いた、居心地の良い空間を目指して設計されています。
また、ワークスペースはスタッフがモチベーションを持って働けるよう、明るく開放的な空間となっています。
国内・海外とのミーティングを行う専用室もあり、患者さまやご依頼者様のプライバシーに配慮した防音室もあります。

ラジオ波焼灼療法 が全クリニックで患者対応可能に

『ラジオ波治療』実施クリニック

松岡救急クリニック T-松岡救急クリニック神田
西海救急クリニック 植田救急クリニック

『術前検査』実施クリニック

松岡救急クリニック分院 酒井救急クリニック
西山救急クリニック

これにより多くの患者様がお住まいに近いクリニックでスムーズに治療を受けられる体制が整いました。初診から術前検査・施術・術後のフォローアップ・リハビリテーションまで、EMSグループ全体で一貫して対応いたします。
膝の痛みでお悩みの方はお気軽に各クリニックまでご相談ください！
松岡理事長は2024年6月～2025年6月で426例と日本最多の実績数に。
また、世界初の肩や腰のラジオ波焼灼療法にも成功しています。

※お問い合わせ先は本冊子裏面をご覧ください。



西村浅盛商店

最高級本枯節

農林水産大臣賞2度受賞

「一九六〇年の創業以来続く
「品質へのこだわり」
本場枕崎の鰯節をぜひ
本場のだし作りにお役立てください」



公式HP

公式Instagram

公式LINE

製造元

株式会社 西村浅盛商店

〒898-0033 鹿児島県枕崎市宮前町166

0993-72-0454

<http://n-asamori.jp/>

販売元

株式会社 メディテラス

〒814-0153 福岡県福岡市城南区樋井川6丁目36-13

092-407-5518

<https://www.katsuobushi-nishimuraasamori.com>

ご挨拶



広域医療法人EMS
理事長 松岡 良典

暑さ厳しき折、皆様いかがお過ごしでしょうか。

今年も早くも上半期が終了いたしました。

本年度最も大きな出来事は、2月1日に長崎県西海市にて「西海救急クリニック」が開院したことでした。これまで西海市内には救急患者を受け入れる病院がなく急病人が発生した際はすべて市外の佐世保市や長崎市まで搬送せざるを得ない状況が続いていました。そのため、救えるはずの命が救えないという非常に厳しい医療体制に置かれておりました。

しかし2月1日の開院以降、西海救急クリニックはすべての救急患者を受け入れており西海市の救急医療体制は劇的に改善されました。地域の皆様からは感謝のお言葉を多数頂戴しており、この「救急クリニック」というシステムが地域においていかに大きな効果をもたらすかを実感するとともに、大きな使命を担っていることを改めて認識いたしました。今後も、5年、10年、20年、30年と、地域の皆様の健康を守り続けていく決意を新たにしております。また私個人としては、昨年より、痛みの神経を焼灼して痛みを改善させる「ラジオ波末梢神経焼灼療法（以下、ラジオ波）」に力を入れてきました。昨年度は、膝の痛みで悩む426例の患者様に手術を行いました。これは日本最多の症例数であり今年7月には京都にてその実績を発表する機会をいただきました。治療成績の良さに、海外の医療関係者も非常に驚いておられました。

海外では放射線装置を用いるのが一般的ですが、日本では超音波を使って施術を行う点が大きく異なります。私はさらにその方法を改良し、神経を確実に焼灼する独自の手法を確立し、良好な成績を収めております。この手法はまさに「ジャパノクオリティ」であると評価され、海外の方々にも高くご評価いただけたことは、大きな自信となりました。

本年9月には、アジア太平洋（APAC）地域の国々を対象に、ラジオ波に関する講演を行う予定です。このテクニックは極めて繊細な手技を要し、容易に模倣できるものではありません。海外での医療経験を通じて、日本人医師ならではの「細やかさ」や「繊細さ」の価値を改めて認識し、ラジオ波こそが日本人の特性を生かせる優位な治療法であると確信しております。今後もさらなる実績を積み重ね日本の手術レベルの高さを世界に示してまいります。

海外においても「松岡」という名前が知られるようになり、さまざまな病院より医療協力や指導の依頼をいただけるようになりました。しかしながら私の身体はひとつしかなく、全てに応えることは困難な状況です。今後は日本から優秀な先生方を派遣し、ベトナムと日本を医療を通じてつなぐ架け橋となれるよう尽力してまいります。

最後に、個人的にとっても嬉しかった出来事の一つをご紹介します。

昨年末、児童養護施設の子どもたちを招いてクリスマス会を開催しましたが、後日、子どもたちから心温まるお礼の手紙をいただきました。2時間という短い時間ではありましたが、その時間を心から楽しんでくれた様子が手紙からひしひしと伝わり、私の心も洗われる思いでした。この小さなイベントが子どもたちの未来に少しでも良い影響を与えてくれることを願っております。

さて、今回も、私たちグループが上半期に取り組んだ主な活動をまとめました。下半期にも大きなイベントを控えており、また皆様に良いご報告ができるよう、今後も努力を重ねてまいります。今後とも変わらぬご指導・ご協力を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

広域医療法人EMSグループと一緒に働いてみませんか？

経験が活きる、現場がある

広域医療法人EMSでは、一人一人のスタッフが自分たちができる仕事を考えながら日々業務に取り組んでいます。自分の能力を最大限に生かして地域の救急医療に貢献したい！という熱意のある方を募集しています。少しでも興味のある方はぜひご相談ください。私共と一緒に日本の救急医療の新しい未来を切り開いていきましょう。

まずはお気軽に事務局までお問い合わせください。

※お問い合わせ先は本冊子裏面をご覧ください。

